

広報

にしあいつ

No. 663

1

2014

(平成26年)



謹賀新年 飛躍へ「午年」幕開け

P 2～3 新年のごあいさつ

P 4～5 新年の抱負

P 6～7 年男・年女インタビュー
— 功績をたたえ

— 自治功労者表彰式から—

P 8～9 民生・児童委員が新体制

P 10～11 12月町議会定例会報告



西会津町長 伊藤 勝

新年のごあいさつ

謹賀新年

明けましておめでとうございます。
本年も町民の皆さんにとつて
幸多き年となりますよう心から
お祈り申し上げます。

復興を願う

今なお東日本大震災の被災地
では復興・復旧に向けた作業が
懸命に進められていますが、原
発事故周辺の自治体では、いま
だ住民の帰還がかなわず、廃炉
に向けた作業や除染も思うよう
に進まないなど、困難な状況が
続いています。一日も早い収束
を願うばかりです。

わが町においても原発事故の
影響により、農林産物等のモニ
タリングや米の全量・全袋検査、
風評被害払拭に向けた取り組み
など積極的に行つてまいりまし
た。本年も農林産物等の安全性
を広くPRし、販路拡大を図つ
てまいります。

「住んでみたい、行って みたい町へ」を目指して

年頭にあたり、平成26年度の
まちづくりの取り組みについて、
その一端を述べたいと思います。
今年も「住んでみたい、行つ
てみたい町へ」をテーマに定住
促進と交流人口の拡大を総合的
に推進してまいります。そのた
め引き続き「地域経済の活性化」

「教育の振興と人材育成」「健康
づくりと安全・安心」の3つの
柱を重点目標に取り組みます。

*

1点目の「地域経済の活性化」
では、農林業の担い手の育成と
ミネラル農産物の生産振興、6
次産業化を進めるとともに、町
内産品の生産拡大・販売促進の
ため、道の駅への「販売力強化
施設」の整備に着手します。

また、町観光協会と元気グ
リーンツーリズム協議会、大山
まつり実行委員会を一体化して、
新たな町観光協会を組織し、観
光関連産業の活性化を目指しま
す。さらに都市再生整備計画事
業により、「野沢まちなかのにぎ
わいを再生する」取り組みを進
めます。

*

2点目の「教育の振興と人材
育成」では、西会津小学校新築
事業について、平成27年4月の
新校舎での授業開始に向け26年
度中の完成を目指します。

また、子育て支援の充実のた
め、これからの保育ニーズに対
応した新たな保育施設の整備に
着手してまいります。

*

3点目「健康づくりと安全・
安心」では、「健康がいちばん!」
をキャッチフレーズに食・運動・
健(検)診を相互に連携した健康

づくりを進めていきます。特に
26年度は「運動」に重点を置き
町民の皆さんが日常的に運動に
参画できる「一人一運動」を推
進します。

さらに、町民の暮らしに密着
したデマンドバスの運行、生活
道路の整備、上・下水道の整備、
空き家対策を進め、街路灯等の
LED化を計画してまいります。

*

このほか、「西会津町総合計画」
前期5年間の「基本計画」は26
年度が最終年度となります。今
年は27年度から5年間の後期計
画策定の作業を町民の皆さんに
参加していただきながら取り組
んでいきます。

また、平成27年度に移転後の
現西会津小学校施設への役場機
能移転についても本格的に準備
作業を進めてまいります。

ウマ年、 力強く前進する一年へ

今年はず(馬)年です。馬にま
つわる言葉に、駿馬や馬力など
があります。駿馬のごとく大き
く飛躍して、馬力をかけて力強
く町政を前進させてまいりたい
と思います。今年はず(馬)年
・と、馬力(ウマ)を思い起こし、
力をお願ひ申し上げます。新年のあ
いさつといたします。



西会津町議会議長 武藤道廣



明けましておめでとうござい
ます。

町民の皆様には、希望に満ち
た初春をお迎えのこととお慶び
申し上げます。

昨年は、3年連続の豪雪、夏
の猛暑と雨不足など異常気象に
見舞われた年でありました。

西会津町議会に対し、特段の
ご支援・ご高配を賜り、心から
感謝を申し上げます。

私も議会にとって、昨年は
大きな転機の年でありました。

具体的には、議会基本条例の
制定をはじめ、議会改革・議会
活性化を図るための議会活性化
特別委員会の設置、その一環と
して、初めて議会報告会を開催
し、町民の皆様から厳しくも心
強いご意見や貴重なご提言をい
ただき、ご理解とご協力を賜り
ましたことに心から御礼申し上
げます。

さて、国内の景気動向は、緩
やかに回復していると言われま
すが、本町では、依然として先
行き不透明な状況が続いており
ます。

加えて、本県では原発事故に
よる風評被害もいまだに払拭さ
れておりません。

このような中、町は、町民の
皆様に最も身近な自治体として

風評被害の払拭はもとより、災
害に強い安全・安心な町づくり、
地域の活性化、少子高齢化施策
などを推進し、豊かな地域社会
の実現を図っていくことが強く
求められています。

特に本町では、過疎化、少子
高齢化により、高齢化率が40パー
セントを超え、地域力低下への
対応や医療・介護など高齢者へ
の対応、子育て支援、定住の促
進、地域活性化の対応などが喫
緊の課題であり、町全体で取り
組まなければならない重要な施
策であります。

地方分権の進展に伴い、町議
会も二元代表制のもと、町長、
その他の執行機関との立場や権
能の違いを踏まえるとともに、
常に緊張ある関係を保ちながら、
町民の皆様の福祉向上と町政の
発展に寄与していかなければな
りません。

また、多様な住民の意思や意
見を反映し、自治体として最終
的に意思決定していくことは、
議会に課せられた最大の役割で
あり、責務であります。

西会津町議会は、今後も、こ
れまで積み重ねてきた議会改革
を基に、議会基本条例をより具
現化するため、さらに公正で透
明な開かれた議会の構築を目的
に、議会報告会を開催し、議会
の役割、活動の内容を町民の皆

様に明らかにするとともに、皆
様のご意見を議会活動に反映し、
住民福祉の向上と豊かな町づく
りの実現に向けて努力してまい
ります。

また、行政の監視機能など、
議会の権能を十分に発揮し、政
策提言などができる議会活性化
のため、研鑽を積み、積極的な
議会活動に取り組んでまいりま
すので、ご理解を賜りたいと思
います。

本年は、昭和29年7月1日に
1町9カ村が合併して西会津町
が誕生し、町政施行60周年とな
る節目の年であり、6回目の「午
年」であります。

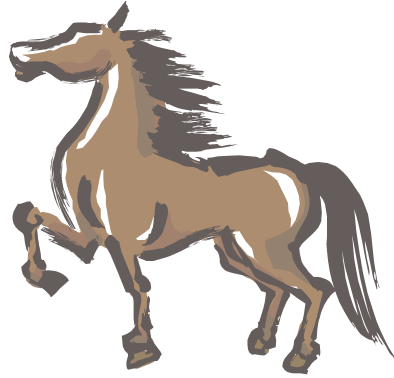
私も町議会議員は、この節
目の新しい年にあたり、心を新
たに、町民の皆様との緊密な連
携・協働のもと、西会津町を誇
りとし、「西会津町に住んでいて
良かった」と真に喜びを実感で
きるような、活力と魅力ある自
立した町づくりの実現に向けて
引き続き懸命に努力し、町民の
皆様の負託に応えるよう頑張る
所存であります。

本年も町議会に対し、特段の
ご理解とご協力を賜りますよう
お願い申し上げますとともに、
町民の皆様のご健勝とご多幸を
心からご祈念申し上げます、新年の
あいさついたします。

新年の

年男・年女

抱負



明けましておめでとうございます。

平成26年を迎え、皆さんはどのような年にしようと目標を掲げましたか。

今年^{うね}は午年です。恒例の新春特集で各地区の年男、年女の皆さんに新年の抱負や夢を伺いました。

新しい年が皆さんにとって素晴らしい一年になりますよう心からお祈り申し上げます。

奈々さん — 去年はスポーツ少年団のバレーボールをみんなと頑張りました。今年は6年生になるので、低学年のお手本になれるようにしたいです。そして将来は保育士になりたいです。

明雄さん — 去年は健康づくりのため1年間、毎日、ウォーキングを続けてきました。仕事の方は無理をせず、現状維持できるように取り組んできました。

今年も薬に頼らず、健康で過ごすことができるよう商売とウォーキングを続けて、また水泳教室に参加し、ずっとやっていなかった水泳を始めてみたいです。

伊勢市の親戚に誘ってもらい、昨年、夫婦で旅行を兼ねて伊勢に行ってきましたが、今年もまた夫婦で旅行してみたいです。



さとう あきお なな
佐藤 明雄さん 奈々さん

●昭和17年・平成14年生まれ 芝草



はせがわ のぶえ ますお
長谷川 伸枝さん 益大さん 親子

●昭和29年・昭和53年生まれ 繩沢

益大さん — 去年は3月に結婚し新しい生活が始まった転機でした。また、同級生、学生時代の後輩たちとフットサルを始め、事が始まる年でもありました。

今年1月に第一子が生まれる予定です。温かい家庭を築き、仕事ではキュウリの栽培技術を高め、一家の中心になって農業ができるよう努力していきたいと思っています。

伸枝さん — 去年はわが家に、かわいいお嫁さんが来て家族が増え、また、みんなが健康で良い年でした。

今年も農業と訪問介護員を両立し、キュウリの収穫、それから訪問介護では、「来てほしい」と言われる限り楽しく勤めていきたいと思っています。春には孫が誕生するのでとても楽しみです。



つかはら しょうこ
塚原 昌子さん

●昭和41年生まれ 下野尻

和晃さん — 仕事の都合で昨年9月、17年ぶりに横浜から西会津に、妻、子ども2人と戻ってきました。

住みやすい町だと思っていましたが、今年1月からの海外勤務が決まり、タイに単身で赴任します。まずは仕事を軌道に乗せることが目標で、外国人と接する機会が増えてきたので英語を勉強したいです。

カツ子さん — 去年は、あっという間の1年でした。毎年、「今年こそは」といろいろ思いますが、続けられているのは日記を書くことです。

今年も家族みんなが健康で過ごせたら何よりで、今年こそは、そば打ちに挑戦してみたいです。欲張りかもしれませんが、旅行、野菜作り、あらためて料理の勉強もしたいと思っています。

去年は、特に大きな変化はありませんでしたが、家族みんな健康で過ごすことができました。

今年も、大学4年の次女が卒業し、東京に就職することになります。

寂しいですが、子ども3人とも無事就職できることになりましたので、それぞれ目標に向かって進んでもらえれば母親として幸せです。

今、パソコンの勉強中で、長女に教わりながら少しでも多くエクセルの知識を身に付け、仕事に生かせるようにしたいです。

また時間を見つけ、きれいな景色やパワースポットなどから力をもらいに旅行に行けたらと思っています。美容師としても頑張っていきたいと思っています。



わたなべ かつこ
渡部 カツ子さん かずあき
和晃さん 親子

●昭和29年・昭和53年生まれ 戸中



やべ よしひろ ゆうこ
矢部 佳宏さん 悠子さん 夫妻

●昭和53年生まれ 中ノ沢

佳宏さん — 幼いころ住んでいた西会津に、おとし戻り、昨年4月からは国際芸術村で仕事をする事になり、これまで培った空間デザインの経験や考え方を生かす良い機会となりました。また、プライベートでは初めての子育てなど人生の転機となる1年でした。社会が大きく変化の中で常にアンテナを張り、自分を見詰めながら山ほどある挑戦したいことにできそうなことからコツコツ進め、その過程を存分に楽しむことが目標です。

悠子さん — 昨年5月、奥川に引っ越し、縁のない土地だったので方言の理解に精いっぱいでしたが、中ノ沢の皆さんが温かく迎えてくださり助かりました。今年も、どんどんパワフルになる1歳の娘とちゃんと遊べるように体力をつけたいと思います。家族と、いろいろなことに、わくわくしながら生活していきたいです。

interview

特別功労表彰

元 西会津町消防団庶務本部長

はせがわ しろう
長谷川 四郎 さん [出戸]



昭 和34年春、奥川新町で大火災があり、自動車が無い当時、4kmの砂利道を、団員は消防ポンプを台車で引いて消火に向かいました。私はその労苦に感心して手伝い、翌年4月、消防団に入団したことを思い出します。忘れられない災害は、昭和45年の奥川大水害で、奥川に架かる6つの橋が流され、多数の集落が孤立しました。また、杉山の山林火災では水利が無く、防火帯を設けて消火にあたりましたが、なかなか火の勢いは衰えず炎に巻かれ、その後、第3防火帯の手前で風の向きが変わり、ようやく食い止められた記憶がよみがえります。このたび特別功労表彰を受賞し、身に余る光栄で感激しています。これもひとえに先輩をはじめ、地域の皆様のご指導、ご鞭撻のたまものと心から御礼を申し上げます。

interview

特別功労表彰

前 国民健康保険群岡診療所長

こばやし さだお
小林 貞夫 さん [猪苗代町]



鶴 岡市立荘内病院、宮城県町立豊里病院での地域医療を経て、昭和61年より西会津町でお世話になりました。山口前町長をはじめ、多くの町民の皆さんに大変なご厚意と、お力添えをいただきました。また、外科医の伊藤照雄先生、看護師の皆さんの献身的な協力を得ながら内視鏡中心の医療を行ってきました。この間、町では保健、福祉の面で大きな成果を上げ、その取り組みは伊藤町政に引き継がれています。私は現在、猪苗代町立猪苗代病院の内科に加わり、胃がんを抜きトップになりつつある大腸がんの早期発見のため、西会津町で確立できたコロナビによる内視鏡検査方法を、野口英世を生んだ猪苗代から世界に普及するよう努めています。今後も西会津町がますます発展されますよう願っております。

平成25年度 表彰者・感謝状贈呈者 [敬称略]

自治功労者表彰・特別功労表彰

元 西会津町消防団庶務本部長 **長谷川 四郎**
消防団員として36年3カ月の長きにわたり災害の予防、警戒、鎮圧、また防火思想の啓発に努め、平成2年7月から分団長を、平成5年7月からは庶務本部長を歴任し消防団運営の一翼を担い、団員の確保、組織強化などに貢献しました。

自治功労者表彰・特別功労表彰

前 国民健康保険群岡診療所長 **小林 貞夫**
群岡診療所長として26年7カ月の長きにわたり患者の疾病治療、健康管理のほか予防医療に尽力し、また小中学校の学校医として児童生徒の健康管理、保健衛生の向上に努め、町政の向上発展に貢献しました。さらに健康増進、東日本大震災復興支援資金として町に220万円の寄付をしました。

自治功労者表彰・善行表彰

神奈川県横浜市鶴見区 **故 新田 正夫**
西会津中学校図書館の図書購入費など教育振興資金として町に2,000万円の寄付をしました。

感謝状贈呈・自治区長永年勤続者 5年勤続

原町8自治区長 **大塚 勇**
前 大久保自治区長 **清野 邦夫**
小杉山自治区長 **田崎 衛**

感謝状贈呈・納税貯蓄組合長永年勤続者 20年勤続

下野尻第2納税貯蓄組合長 **鈴木 弘**
宮野納税貯蓄組合長 **五十嵐 治**

感謝状贈呈・納税貯蓄組合長永年勤続者 15年勤続

屋敷納税貯蓄組合長 **藤原 禮昭**

感謝状贈呈・納税貯蓄組合長永年勤続者 10年勤続

呼賀第2納税貯蓄組合長 **山口 重隆**



写真＝受賞者の皆さん。写真中央(左から4番目)は、善行表彰を受賞した名誉町民の故新田正夫さんに代わり表彰式に出席した新田興助さん(神奈川県横浜市鶴見区在住)。

功績をたたえ

今年度の自治功労者表彰式・自治区長大会・納税貯蓄組合長大会は11月22日、町公民館で開かれ、長年にわたり町政の向上発展に尽くした皆さんに伊藤町長から表彰状や感謝状が贈られました。



特別功労表彰を受け取る小林貞夫さん

表彰式では、伊藤町長が「受賞者の皆さんの長年の功績に感謝します。町政伸展のため引き続き全力を傾注していきます」と式辞を述べました。

次に武藤道廣町議会議長がいさつした後、出席した受賞者一人一人に伊藤町長が表彰状や感謝状を贈りました。

続いて県会津地方振興局の須藤浩光局長、瓜生信一郎県議員、遠藤忠一県議会議員が祝辞を述べました。

最後に受賞者を代表し、国民健康保険群岡診療所長として26年7カ月もの間、町民の皆さんの疾病治療をはじめ、健康管理、予防医療に尽力し、特別功労表彰を受賞した小林貞夫さんが謝辞を述べました。

今年度は、特別功労表彰が2人に、善行表彰が1人に贈られ、



活動を紹介する小野木区長と齋藤区長(左から)

また、自治区長永年勤続者3人、納税貯蓄組合長永年勤続者4人に感謝状が贈られました。

表彰式後の第2部では、地域見守りネットワーク・サロン活動の事例紹介が行われました。

まず、町保健師が「町の高齢化の実情とこれから」と題して、独り暮らしなど高齢者だけの世帯の増加、さらに認知症の高齢者が増えている実態から地域での支え合いの必要性を説明し、続いて、実際に見守りネットワークやサロン活動を実施している上野尻の齋藤啓二自治区長、小山の野木秀一自治区長、活動をサポートする町社会福祉協議会の佐々木隆専門員がその取り組みを紹介しました。

来場者は、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるため、互助・共助の支え合い活動についてあらためて考えました。



民生・児童委員が**新体制**

12月3日、民生・児童委員委嘱状等伝達式が町公民館で行われ、任期満了により新たに選出された委員43名に伊藤町長が厚生労働大臣からの委嘱状を手渡し、また退任された皆さんには感謝状が贈られました。[写真=上/伝達式後の全体会に臨む委員の皆さん、下右/担当地区委嘱状を受け取る長谷川成博さん(梨平)、下左/誓いの言葉を述べる猪俣八重子さん(小山)]

ご存じですか「民生・児童委員」

民生委員の皆さんは、社会福祉増進のため、町民の皆さんの立場で生活や福祉全般に関する相談・援助活動を行います。また、すべての民生委員は、児童福祉法によって児童委員を兼ね、妊娠中の方の心配ごとや子育ての不安に関する相談などにも応じて支援を行います。

地域社会でのつながりが薄れる中、悩みを抱える人、障がいのある方、高齢者等が孤立し必要な支援を受けられない場合があります。そのようなとき民生・児童委員が身近な相談相手になり、支援が必要な方と行政や関係機関をつなぐパイプ役として活動しています。

民生・児童委員の活動内容

① 担当地区の高齢者や障がい者のいる世帯、また、児童・妊産婦・母子家庭等の訪問などによる状況把握
② 支援が必要な方の相談に応じ助言を行うほか、福祉制度・支援サービスなどの情報を提供

③ 町に3名いる主任児童委員は、町、福祉事務所などの関係機関と民生・児童委員間の連絡調整のほか、民生・児童委員の活動に関する相談に応じています。支援が必要な場合、また困ったことがあるときは、秘密は守られますので該当地区の民生・児童委員にお気軽に相談ください。

【問い合わせ先】

健康福祉課 ☎ 45-2214

新しい民生・児童委員

[敬称略]

任期 = 平成25年12月1日～
平成28年11月30日(3年)

担当地区	氏名
1町内・2町内北側	佐藤 ミエ子
2町内南側・3町内	江川 順子
4町内・5町内	伊藤 美津子
6町内・7町内	岩原 稔
8町内・9町内駅前通り西側	高濱 悦子
9町内駅前通り東側・10町内・下小屋	小柴 正意
芝草	新田 麗子
堀越・芹沼・塩喰	小野木 さよ子
牧・安座	二瓶 歳雄
西平・中野・大久保・四岐	三留 啓子
野沢地区[主任児童委員]	伊藤 てる子
西原・森野	長谷川 スミエ
萱本・松尾	長谷川 越子
上小島・尾登	齋藤 勝利
下小島・さゆりが丘	伊勢亀 静雄
西林・西林東	望月 勝雄
縄沢・青坂・軽沢	青津 稔
牛尾・山口・出ヶ原	伊藤 吉榮
程窪・泥浮山・長桜	新田 孝子
黒沢・小杉山	渡部 雅二郎
尾野本地区(主任児童委員)	荒海 孝子
上野尻1・2・3・4	岩倉 洋子
上野尻5・6	平野 マチ子
下野尻南側・端村	三留 傳一
下野尻北側	平野 裕子
徳沢・杉山	齋藤 君夫
宝川・白坂	佐藤 新一
屋敷・檜木平・熊沢	伊藤 優一
柴崎・橋立・滝坂	佐藤 勝栄
平明・呼賀・原・新村	須藤 正二
樟山・滑沢	細野 シズエ
小清水・漆窪・高目・荒木	長谷沼 則夫
戸中・橋屋・井谷・八重窪	上野 賀代子
向原・塩・下松	伊藤 哲雄
新町・道目	猪俣 ミヨシ
山浦・出戸	高橋 市郎次
中ノ沢・松峯	矢部 正夫
中町・小山・真ヶ沢	猪俣 八重子
宮野・梨平・小屋	長谷川 成博
小綱木・大舟沢	宮澤 吉夫
極入	星 敦志
弥平四郎・弥生	小椋 作男
群岡・新郷・奥川地区(主任児童委員)	白井 守

INTERVIEW



民生・児童委員 **ほその 細野シズエ**さん [滑沢]

委員状を手にして心が引き締まりました。地域の皆さんが健康で明るく生活できるような気のいいあいさつや心のこもった会話を大切に活動していきたいと思っています。

滑沢では1年ほど前に「さらサロン」を立ち上げ、集落の多くの人がサロンに参加し、健康、運動、防犯などの勉強会を楽しみながら親睦を深めています。こうしたサロン活動の充実、普及など、みんなが元気に笑顔で暮らせるように少しでもお役に立てればと思っています。

INTERVIEW



民生・児童委員 **みやざわ 吉夫**さん [小綱木]

民生委員の話があったときは、まさか私などと考えましたが、自分が子育てをしていたころ、民生委員の皆さんにお世話になってきましたのでいくらかでも役に立てればと思いき受けました。

担当の小綱木、大舟沢は集落間が離れており、独りで暮らす方も多いため、職務の内容を一日でも早く把握し、住民の皆さんと気楽に話し合えるようになれたらと考えています。皆さんよろしくお願います。

前 民生・児童委員 **ほりえ 恭子**さん [宝川]
「退任にあたって」

自分の手、家族のために使う手、地域の皆さんに差し伸べる手、この3つの手をフル活用し、19年余の任期を無事に終えることができました。関係者、地域の皆さん、母や夫に感謝しています。活動では不安や心配を感じることもありましたが、次第に私に合う仕事だと思えるようになっていました。かかわった児童が高校生や社会人として立派に成長し本当にうれしかったことなど、数々の思い出がよみがえってきます。お世話になりました皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

INTERVIEW



INTERVIEW



12月町議会定例会報告

町政の主要事項 報告から

西会津小学校 新校舎建築事業

西会津小学校新校舎建築主体工事、同電気設備工事、同機械設備工事については、昨年10月7日、施工業者主催による安全祈願祭が行われ、工事が着手されたところです。

町では、そのほかの付随する準備作業についても鋭意進め、平成27年4月からの新校舎での授業開始に向け、万全を期していきます。

12月町議会定例会は、12月6日から11日までの6日間を会期に開かれ、条例の制定や一部改正、平成25年度の補正予算、人事案件など議案19件について審議され、いずれも原案のとおり可決されました。

今月は、町政の主要事項報告の内容と可決された議案についてお知らせします。

野沢駅開業 百周年記念事業

JR野沢駅は、大正2年8月1日に開業以来、百周年を迎えました。

野沢駅は通学や通勤、通院など生活に欠かせない重要な役割を担うと同時に町の玄関口として大山祇神社参拝客など多くの来町者を出迎えてきました。10月13日には、JR東日本をはじめ、町商工会、関係団体の協力、町民の皆さんの参加のもと百周年祝賀セレモニーを盛大に開催することができました。今後もJR東日本など関係機関との連携を図り、町民の皆さんの足の確保や利便性向上に努めていく考えです。



役場入口交差点へ の信号機設置

役場入口交差点は交通量が多く、また通学で多くの児童生徒が通行することから、交通事故の危険性が高い場所になっています。このため、町、教育委員会、PTA、交通関係団体では連名で喜多方警察署に信号機設置を要望していたところ、昨年10月開催の県公安委員会、今年度中の設置が決定されたと10月9日、喜多方警察署長から報告がありました。今後も関係団体と連携し児童生徒の通学の安全確保を図っていきます。

埼玉県三郷市との 災害時相互応援協定

町では、安全・安心な町づくりを一層推進するため、災害対策基本法や県地域防災計画の見直し、さらに東日本大震災、新潟・福島豪雨災害の教訓を踏まえ、町地域防災計画を昨年3月に見直し、友好都市やスーパー、ホームセンターなどの応援協定の締結を推進することになっています。このような中、昨年8月、首都直下型地震など大災害発生に備えて応援協定締結を模索していた埼玉県三郷市より、本町との協定締結の打診があり、8月7日には三郷市の防災担当

職員が来町しました。

町の防災力強化を図る上で他自治体との災害時相互応援協定の締結は重要であるため、10月18日には三郷市で市長と災害時の応援内容のほか、人的交流、物産交流など地域間交流についても協議したところです。今後協定の早期締結に向けた作業を進めていく考えです。

保育行政

平成24年に子ども・子育て支援法が施行され、来年度中に子ども・子育て支援事業計画を策定する必要があるため、町では、就学前乳幼児の保護者234人を対象にニーズ調査を実施し、現在、調査結果の集約を行っています。今後は、子ども・子育て会議で検討し、今年度中に保育施設の整備基本構想を策定していく考えです。この保育施設整備までの対応として、野沢保育所と芝草保育所を統合し、芝草保育所を野沢保育所の分所にする手続きを進めているところです。

介護施設サービスの 開始予定

社会福祉法人啓和会が整備を進めている「認知症高齢者共同生活介護グループホーム」と「小規模多機能型居宅介護事業所」は、11月末に開発許可申請等の

手続きが終了し、2月より建築工事に着手し、平成26年9月からのサービス開始を予定しています。

また、有限会社なごやかが進めている「特定人居者生活介護・有料老人ホーム」は、名称を「しなのきホーム西会津」とし、県への設置届が受理されました。

現在、施設の改修工事中で、予定通り平成26年3月にサービスが開始される見込みです。

アンテナショップの開設

町と友好都市交流協定を結ぶ横浜市鶴見区に、棚倉町との共同で開設の準備を進めてきたアンテナショップが、10月23日にオープンしました。

アンテナショップは、横浜市中区まちづくり事業を手掛ける株式会社イータウンが、市の商店街空き店舗活用アンテナショップ事業の補助を受け、また、本町では国の地方消費者行政活性化交付金を活用し開設しました。名称は、大切なものを保存する蔵のイメージから「Kuracafe」としました。

アンテナショップでは、物産販売はもとより、町の魅力や安全性をPRするイベント、生産者と消費者の交流会などを開催し、風評払拭、さらに町のイメージアップにより、交流人口

の拡大を図りながら地域経済の活性化につなげていきたいと考えています。

米の全量全袋検査の状況

放射性セシウムの濃度が基準値を超える米を流通させないことを目的に、昨年度から実施している本検査については、町内2カ所の検査場で、9月10日から実施し、11月30日現在、昨年度の実績とほぼ同数の約10万3千袋の検査を終えたところです。現在まで、出荷規制値を超える米は検出されておらず、西会津産米の安全・安心が確認されています。

水稲の生産目標数量の状況

今年度の町の生産目標数量は、約3127ト、面積換算で約593ha配分され、この目標達成のため、県内の作付け困難地域との地域間調整で約80haを引き受け、また新たに備蓄米の出荷による対応で約22ha達成し、農家の皆さんのご理解とご協力により目標数量を100%達成できる見込みとなりました。

これにより町が転作農家に交付する「産地資金」は、当初提示した単価で交付できる見込みになりました。



鳥獣被害の発生状況

今年度、町に寄せられたクマの目撃や被害報告は、昨年に比べ大幅に減少し、この結果、県への有害捕獲許可申請は4件、県から町が移譲を受けた銃による緊急捕獲許可については、3件許可し、捕獲には至りませんでした。その後、被害は発生していません。

イノシシの被害状況は、平成22年度に初めて町内で被害が確認されて以降、今年度も高目、荒木で被害が発生しているため、二本松市より講師を招いて技術講習会を開催し、捕獲技術の向上を図ったところです。

サルの被害状況については、野沢・尾野本地区の一部を除く町内各地で被害が発生しています。町では今年度、被害防止対策として、鳥獣被害対策実施隊による捕獲や農作物の収穫期のパトロール、電気柵設置費補助、さらに追い払い活動の支援のため、接近警戒装置の設置や受信機の貸し出しなども実施してきました。

また今年度は、専門業者による行動域の調査と群れの個体数調査を実施したため、新たな被害防止計画を策定し、効果的な被害対策を進めていく考えです。

可決された議案

町地域の元氣臨時交付金事業基金条例の制定Ⅱ国の緊急経済対策の一環で交付される「地域の元氣臨時交付金」を有効・円滑に活用するため基金を設置

町立学校施設使用料条例制定・町体育施設条例制定Ⅱ学校等の体育施設の使用料について、小

学校統合に伴い学校施設と旧学校施設に分けて定めるため制定

町税条例の一部改正・町国民健康保険条例の一部改正Ⅱ地方税法施行令、地方税法施行規則の改正に伴う条例の一部改正

町税外収入金に関する延滞金徴収条例等の一部改正Ⅱ町税に準じて延滞金を定める町税以外の歳入に係る条例を一括改正

平成25年度町一般会計補正予算(第5次)Ⅱ職員給与等、西会津小新校舎整備費の調整などで2千507万1千円を増額

平成25年度特別会計等補正予算Ⅱ下水道施設事業特別会計ほか6特別会計、水道事業会計の補正予算

財産の取得Ⅱ群岡地区児童生徒用スクールバス1台の更新

固定資産評価審査委員会委員選任への同意Ⅱ長谷川文男さん(松尾)、高濱悦子さん(8町内)、齋藤

和則さん(上野尻)の選任に同意

江川貞一さん「瑞宝単光章」受章

江川貞一さん(牧)が秋の叙勲で瑞宝単光章を受章し、12月13日に町役場で伝達式が行われました。

式では、伊藤町長が立会いのもと、県会津地方振興局の須藤浩光局長が江川さんに勲記と勲章を伝達しました。

江川さんは昭和42年、消防団に入団以来、消防人として44年の長きにわたり町民の皆さんの安全・安心確保に尽力し、平成18年からは副団長を4年間、平成22年からは団長を2年間務め、団を統括し消防組織力の強化、予防消防の推進のほか、消防支援隊の設立などにも貢献しました。伝達にあたって伊藤町長は、江川さんの多大な功績に謝意を述べました。(写真中央=江川貞一さん、妻のみさよさん)



橋屋地区に堤防が完成

平成23年7月の新潟・福島豪雨で住宅などに浸水被害を受けた橋屋地区に、県では昨年12月から災害対策等緊急事業で堤防整備を進めてきました。この整備工事が11月19日に完成し、同28日、現地で竣工式が行われました。

工事は再度の水害を防ぐため、県が事業費約1億4000万円を投じ、阿賀川の橋屋集落側沿線に幅6m、延長400mの堤防を整備しました。堤防は新潟・福島豪雨での被災水位をもとに阿賀川の平常水位から約11mの高さまで盛り土されました。竣工式では、県土木部の遠藤光一技監が式辞を、伊藤町長らが祝辞を述べ、関係者がくす玉を割って待望の完成を祝いました。



橋谷田淳さんのコシヒカリが特別優秀賞

国内最大の米のコンクール「第15回米・食味分析鑑定コンクール国際大会」のJAS(有機栽培)部門で橋谷田淳さん(2町内)が栽培したコシヒカリが特別優秀賞を受賞しました。橋谷田さんは12月9日、その報告のため町役場を訪れました。

JAS部門は、無農薬、無化学肥料の有機栽培米が審査される高い栽培技術が求められる部門で、橋谷田さんは、子どもたちに安全な米を提供したいとの思いから、5年ほど前に有機栽培を始め、今回出品しました。受賞にあたり橋谷田さんは「ようやく栽培技術に自信を持てるようになりました。今後も米作りに精進していきたい」と抱負を述べました。



トライアングルの会 設立10周年祝う

心の病を持つ人やその家族が地域で生活しやすいよう精神障がい者の支援活動などを行う「精神保健福祉ボランティア・トライアングルの会」は、今年設立10周年を迎え、11月17日、記念式典を開催し10年の節目を祝いました。

式では、同会の柴田淳子会長が「これからも楽しみながら誇りを持って活動を続けていきましょう」とあいさつ。伊藤町長らが祝辞を述べた後、活動参加者2人が意見発表しました。最後に、会員や出席者がステージ前で「一人の手」を合唱し(写真)、活動の継続を誓い合いました。

式典後には竹田総合病院こころの医療センター精神科長の上島雅彦医師による講演が行われました。



冬に流行する『胃腸炎』

ノロウイルス感染に注意！

この時期はノロウイルスによる感染性胃腸炎が流行します。今月はノロウイルスの特徴、感染ルート、予防対策について掲載します。

ノロウイルス胃腸炎とは

ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は1年を通して発生していますが、冬季に特に流行します。ノロウイルスは手、指、食品（カキなどの2枚貝）等を介して口から感染し、腸の中で増殖します。感染した場合、健康な方は軽症で回復しますが、子どもや高齢者などは重症化することがあります。

ノロウイルスの特徴

ごく少量のウイルスからでも感染する非常に強い感染力を持っています。また一度感染したからといって、また感染しないとは限りません。

感染したときの症状

ノロウイルスの潜伏期間は24〜48時間です。主な症状は吐き気、おう吐、下痢、腹痛、軽い発熱です。こうした症状



が1日〜2日続いた後、回復に向かいますが、便からのウイルスの排出が1週間から、長い人では1カ月程度続くため注意が必要です。

3つの感染ルート

ノロウイルスは、口からウイルスが体内に入ることによって感染します。ウイルスが口に入るまでの経路を知り、予防対策に努めましょう！

その1（人→人）

◆感染者のおう吐物や便を触った手や指に付いたウイルスが口に入り感染
◆空気中に飛び散ったウイルスを口から吸い込み感染
◆感染者が触れた物（蛇口、ドアノブ、おもちゃなど）に触れ感染

その2（人→食べ物→人）

◆感染者が調理した食べ物や汚染された食べ物が付いた調理器具からウイルスがうつり、それを食べることで感染

その3（食べ物→人）

◆ウイルスが蓄積したカキなどの2枚貝を食べることによって感染します。このほかウイルスに汚染された水道水や井戸水から感染することもあります。



3つの予防対策

感染を防ぐ対策は、次の3つです。

一人一人が対策を実践し感染を予防しましょう。

対策1 しっかり手を洗う

ノロウイルスに特効薬やワクチンはありません。最も有効な予防方法は手洗いです。



◆爪を短く切り、手洗いの前には時計や指輪を外しましょう。

◆洗った手をふくタオルは、使い回しをしないようにしましょう。

◆すすぎは、温水による流水で十分に洗いましょう。

対策2 おう吐物などは確実に処理

◆ウイルスを含む微粒子からの感染を防ぐため、おう吐物や便は他人が触れないように処理しましょう。また水洗トイレは、ふたを閉じてから流しましょう。

◆空気中に飛んだウイルスは長時間とどまるため、窓を開けて換気しましょう。

対策3 食品は十分に加熱殺菌する

◆ノロウイルスに汚染された食品でも中心温度を85度以上にし、90秒以上加熱すれば、感染性が無くなるとされています。このため食品は十分に加熱しましょう。

簡単な消毒液の作り方

ノロウイルスはアルコールに対する抵抗力が強いため、アルコール消毒ではほとんど効果がありません。このため消毒には次亜塩素素ナトリウムが含まれる「台所用塩素系漂白剤」を使用しましょう。消毒液の作り方は次のとおりです。

●通常の掃除用消毒液

「調理器具・ドアノブ・手すりなど」1リットルのペットボトルに水を入れ、そこにキャップ1杯弱（5ミリリットル）の漂白剤を入れ混ぜる。

●汚染がひどい場所

「おう吐物や便が付いた床、衣類など」500ミリリットルのペットボトルに水を入れ、キャップ2杯（10ミリリットル）の漂白剤を入れる。

【問い合わせ先】健康支援係 ☎45-4532

すごいな！ むし歯のない子

11月27日、3歳児5名を対象に健康診査を行った結果、むし歯のない子は1名でした。



れん くん
佐藤 蓮 原
(向)

地元の食材で おしゃれな一品

車麩の 簡単 オープン サンド

6

材料 (4人分)

車麩 4枚
牛乳 300cc
ホワイトソース
小麦粉・バター各20g
牛乳250cc / 塩こしょう少々
卵 4個
スライスチーズ・ハム 各4枚
粉チーズ 大さじ1
塩こしょう・砂糖 少々

作り方

①車麩を牛乳に1〜2時間浸して戻す。(菌応えが残る程度まで)
②ホワイトソースは、鍋にバターを溶かし小麦粉を入れ、4〜5分滑らかになるまで弱火で火を通す。牛乳を入れ、とろみが付いたら塩、こしょうで味を調える。
③車麩に塩、こしょう、砂糖を掛け、フライパンで両面に薄く色が付くまで焼く。
④③に卵1個を割り入れ、ハムとチーズを1枚ずつのせ、ホワイトソース、粉チーズを掛けてチーズが溶けるまでふたをしてゆっくり焼く。



チャレンジ!!

シリーズ

食育

●町の豊富な産品を大切に食べる

郷土料理に

新たな息を吹き込む



『車麩』の魅力

町特産の車麩は、すべて手作りで炭火を使って3回焼き上げたこだわりの食材として親しまれています。

特に、重曹を使用せず、うま味がよくしみ込む素朴な味が人気です。肉厚で煮崩れしにくいのも特徴で、いろいろな料理に使いバリエーション豊富です。今月のオープンサンドは、川俣町生まれの田代和久シェフが考案した一品です。

西

会津の農産物や加工品は、全国に誇れる味で生産者の深い愛情に包まれたものばかりです。地元で生産されたものを地元で消費する地産地消は、生産者と消費者の距離が近いため、流通コストが抑えられ、また安全・安心な食材の供給につながります。

現在、町の学校給食では、地元の米を100%使用するとともに地元の旬野菜も使用しています。一方で町には行事とともに伝承された多くの郷土料理があります。郷土料理は、地域の産物を上手に使い、風土に合った食べ物として作られ、食べられてきたものです。

町の郷土料理には、こづゆ、車麩、えごなどがあり、健康・安全・栄養面で質の良い食事です。郷土料理を大切にし、時には創作し次世代に伝えていきたいと思います。

なお、今年の町民カレンダー料理のテーマは「西会津産品の活用と新・郷土料理」です。皆さんぜひ作ってみてください。

バリエーションが豊富

車麩のアレンジ料理

揚げる 車麩はカツや、から揚げにしてもおいしいので肉の代わりに使ってみましょう。

焼く フレンチトーストやピザの材料に車麩を使ってみましょう。

煮る 甘辛味の煮物や、すき焼きの材料に、また、黒砂糖の味付けでかりんとう風のおやつとしてもおいしい車麩です。

西会津の産品をたくさん食べましょう!



西会津を学ぶ大人の学校

「さゆり中学」で卒業式

12月5日、「さゆり中学」の卒業式・修了式を西会津国際芸術村で開催し、今年度は4名が卒業しました。

「さゆり中学」は、『西会津の人から西会津を学ぶこと・さまざまな生涯学習を体験すること』をテーマにしています。中学では、主に町在住者が講師を務め、町の歴史・自然などのほか、一般的な芸術や文化・スポーツについて3年間学ぶ成人を対象にした講座です。

今年度は、1年生5人、2年生3人、3年生4人が受講し、6月から18回にわたり学習してきました。

今年度の授業の内容は、もりの案内人を務める齋藤和則さん（上野尻）を講師とした「飯豊連峰の自然探勝」をはじめ、語りの会の細野シズエさん（滑沢）を講師とした「民話・昔話教室」、四君子会の会員を講師とした「水墨画教室」、まんとく俳句会の会員を講師とした「俳句教室」、町社会教育指導員による「折り紙教室」などを行ってきました。

また、卒業文集の作成や修了式、卒業式、3年生を送る会など、本当の学校のような行事も行いました。



▲飯豊連峰の自然探勝では榎川山荘まで散策



▲水墨画に挑戦する受講者



▲折り紙に夢中になる受講者



▲授業風景、授業は主に国際芸術村(樟山)で実施

卒業文集より

小野木麗子さん(真ヶ沢)

学生以来の授業で久しく忘れていた学ぶことの緊張感や知識を得た喜び、達成感などを感じました。同級生だけではなく、ほかの学年との合同授業を通じ、仲良くなり人の輪を広げることができました。

また、授業のほか同じ受講生の「何事にも一生懸命取り組む姿」や「温かい人柄」に触れ、私もこうならなければと大変勉強になりました。同時に、町の奥深い歴史や豊かな自然に触れ、自分自身が豊かな環境に暮らしていることを気付くことができました。仲間が集い、学び合う喜びを周りの人たちに紹介していきたいと思えます。今後もまた公民館講座に参加したいと思います。



▲今年度の卒業生、左が小野木麗子さん



町民バトンタッチ

あかぎ ゆりえ
赤城 由李恵さん [松尾]

おおぬま
大沼 あゆみさん (12月号から) メッセージ
大変だと思いますが、ついて来てね(笑)。

あなたの趣味は？
バレーボール

特技は？
服のアイロンがけ

熱中していることは？
COOKPADを見ながら料理をすること

自分を一言で表現するとしたら？
「喜怒哀楽」が激しい

最近感動したことは？
友達の子どもが大きく、たくましくなっていたこと

あなたのモットーは？
やるならとことんまでやる!!

これからやってみたいことは？
凝ったフィリピン料理作り

次の方を紹介してください
A・Sさん (楢木平)

大切にしているものは？
『スポ少のときの写真。運動が苦手な私にバレーボールを教えてくれた監督、コーチ、仲間に感謝しています』



町民 ギャラリー

冬芽俳句会

寒の水五臓冷して清めをり
新玉の年はなにいろ未知の彩
切れ長の目は祖父似なる年男
一労を終ひてたたずむ初鏡
心こめ老ひも若さも筆始め

岩原 紀子 (五町内)
喜多 光子 (九町内)
鈴木 智子 (さゆりが丘)
鈴木はる子 (十町内)
渡部 淑子 (四町内)

聞いて！ わたしの夢

ここでは西会津中学校の生徒の皆さんに、自分の思い描いている夢や目標などを話していただいています。

今月は、3年・剣道部前部長の
新田亜美さんです。

わたしの夢——

「わたしは将来、パン職人になりたいです。そう思ったきっかけは、周りの友達や家庭を笑顔にできるような大人になりたいと思ったからです。

誰でも、おいしい物を食べると笑顔になると思います。わたしはパンが大好きで、多くの人にパンを食べてもらい『おいしい』と笑顔で言ってもらえたらということから、パン職人になりたいと思うようになりました」



努力していること——

「まずは自分の笑顔で周りの人を笑顔にできないと、パンで人を笑顔にできないと思うので『いつも笑顔』を心掛けています」

最後に未来の自分に一言——

「夢は、かないましたか？大人になって大変なことがたくさんあると思います。『いつも笑顔』を忘れず、また今の生活に満足しないで、毎日夢に向かって頑張ってください」

まちの人口 ～12月1日現在～ (前月比)

人口	7,300人	(- 6人)
男	3,501人	(- 4人)
女	3,799人	(- 2人)
世帯	2,777世帯	(+ 1世帯)

戸籍の窓口 ～11月受付分～ (敬称略)

お悔やみ申し上げます

鈴木 長市 (85)	義孝	父	1町内
橋谷田 義則 (85)	俊一	父	10町内
小林 ハル (92)	涉	母	芝草
長谷川 保 (89)	正美	父	中野
二瓶 貞子 (91)	悦子	母	上野尻
渡部 喜一郎 (98)	慶藏	父	新村
玉木 イト (91)	明	母	向原
猪俣 正美 (70)	キヨノ	弟	小山



工業統計調査にご協力を

政府統計

工業統計調査は、全国の製造業の実態を明らかにするため、毎年12月31日現在で製造業の事業所を対象に実施しています。

今年度の平成25年調査は、例年どおり12月から1月にかけて実施中です。調査対象事業所は、統計調査員が配布した調査票への回答をお願いします。回答後の調査票は、指定の期日に訪問する統計調査員に提出ください。

【問い合わせ先】 情報政策室 ☎45-4461



有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

◆大きさ 1枠当たり縦4.0cm×横8.5cm

◆掲載料 1枠当たり5,000円/月

【問い合わせ先】

企画情報課・広報広聴係 ☎45-4536

第24回 西会津雪国まつり 2月9日(日)開催決定

冬の恒例のビッグイベント「西会津雪国まつり」を今年も「さゆり公園」で開催します。

子どもから大人まで楽しめる西会津町の冬ならではのイベント盛りだくさんで皆さんをお迎えします。お誘い合わせの上、ぜひご来場ください。



主なイベント

桐ゲタ飛ばし全国大会
スノーシュー(かんじき)トレッキング
雪上運動会
雪上ウルトラクイズ
雪上みかん拾い
スノーモービル乗車体験
ミニカーカフェイベント
あったげえの食べらんしょ
雪のれん市(出店コーナー)
歳の神・キャンドルナイト・雪上花火

各イベントの参加者を募集しています。詳しくは配布されるチラシをご覧ください。

【申込・問い合わせ先】

町ふるさと振興推進委員会事務局(商工観光課内)

☎45-2213

以下は広告です。内容については、広告主へお問い合わせください。

町で昨年、どのような出来事があったのか2013年を振り返ります。



[写真]①6月16日、奥川健康マラソン大会に佐藤敦之さん、美保さん夫妻がゲストランナーで出場／②1月27日、3年連続となる豪雪対策本部を設置／③3月22日、西会津小で統合後初の卒業式／④4月24日に名誉町民の新田正夫さんが逝去／⑤10月7日、安全祈願祭を行い西会津小新校舎整備が始まる／⑥7月21日の町長選挙で伊藤勝氏当選(町議会議員補欠選挙、参議院議員通常選挙とのトリプル選挙になる)／⑦10月1日に奥川みらい交流館がオープン／⑧10月13日に野沢駅開業100周年祝賀セレモニーを開催／⑨3月11日、ローカルヒーロー「壱神デナー」誕生／⑩10月23日、横浜鶴見にアンテナショップがオープン／⑪8月28日、外国語指導助手ネイサン・オメラさん(中央)、エレン・ハンتریさん(右)に辞令交付／⑫11月4日、第1回の社会福祉大会を西会津中で開催

今月の表紙



飯豊連峰切合小屋から望むご来光 [昨年9月29日撮影]。
輝くオレンジ色の太陽の光が、澄んだ空に浮かぶすじ状の雲を金色に染めました。